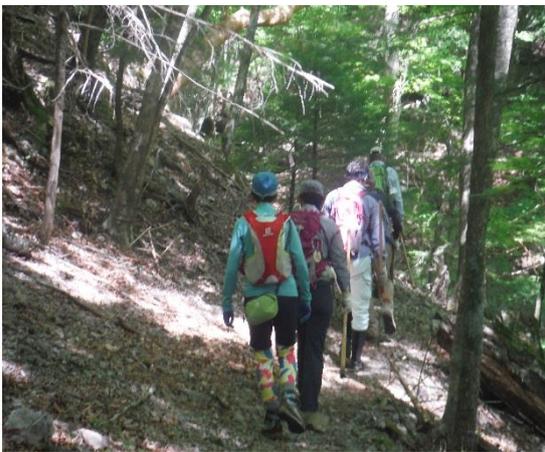


南つるぎ地域活性協議会の活動を支援しました

5月27日(日)、鎗戸国有林134林班内にある歩道約3.2kmを南つるぎ地域活性協議会メンバーと協働で修理しました。

鎗戸国有林は冬に1.5m程の積雪があり、冬季はほとんど利用されませんが、雪解けを待って新緑を求め多くの登山客が利用し始めます。

しかし、冬季に積雪による倒木や歩道の路肩決壊が発生し、本格的な登山シーズを前に、倒木の除去や路肩の補強などを中心に作業を行いました。



修理箇所を確認しながら進みます



安全に通行できる歩道幅を確保しました

当日は、南つるぎ地域活性協議会メンバー14名と徳島署職員3名の総勢17名で、倒木や転石などを上手に組み合わせながら、歩道の幅員を確保したほか、急な斜面では簡易な階段を作設していきました。



倒木などで歩道幅を確保



傾斜が急な斜面では簡易な階段も

徳島森林管理署では、このように各種団体等と連携・協力しながら様々な活動を前広に展開していきます。次回、徳島森林管理署では、南つるぎ地域活性協議会が4年前にボランティア活動で国有林内に設置したシカ防護柵内の植生調査を合同で行うこととしています。(植生調査は、6月中旬の予定です)



作業終了後に記念撮影

(担当：署長)